

令和 5 年度 施策評価表

施策	0602 高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
		施策担当課	地域包括支援センタ	参事	角野 章子
施策の方針	高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進を図るとともに、身体機能の低下抑制及び歯・口腔の健康づくりを推進する。				
関連するSDGsのゴール	    				

【DO（実施）】
後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 介護予防教室の利用団体数	団体/年	76	80 49	82 56	84	84	86	68.3%	65.1%
② 住民主体の「通いの場」の拠点数	箇所	20	80 13	85 95	90	95	100	111.8%	95.0%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①介護予防教室については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催団体からのキャンセルもあったが、利用団体数は増加している。
②通いの場については、国が定める通いの場の定義が変わったことに伴い拠点数が増加した。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	270,294	303,456	329,217	
	国庫支出金	56,349	63,823	63,019	
	県支出金	24,688	27,082	28,369	
	地方債	0	0	0	
	その他	97,295	106,401	108,057	
	一般財源	91,962	106,150	129,772	
	人件費	42,902	40,522	—	
フルコスト	313,196	343,978	—		

施策の概要（細施策）

060201	高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進	高齢者一人ひとりが生きがいを感じながら社会生活を営むことができるよう、就労や地域活動等の社会参加をしながら、生涯現役として活動できる環境づくりに取り組みます。
060202	高齢期の身体機能の低下抑制と健康づくり	加齢による身体機能の低下や生活習慣病による要介護化を予防するため、高齢者健診の受診促進や高齢者のフレイル等の特性に着目した健康支援の充実を図り、介護予防と生活習慣病の重症化予防を連動させた健康づくりを支援します。 また、高齢者が身近な地域で楽しく健康づくりを続けることができるよう、住民主体の「通いの場」を支援するなど、高齢者の健康の維持・増進を図ります。
060203	高齢者の歯・口腔の健康づくり	歯周病や歯の喪失、口腔機能の低下を予防するため、口腔ケアの重要性について普及啓発に取り組むとともに、歯や口腔機能の維持・向上を目的とする介護予防事業の取組を推進します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

介護が必要となる主な要因は、加齢による心身の機能低下と生活習慣病の重症化によるものである。そのため、要介護とならない、または介護が必要な時期を遅らせることができるよう、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な取組、身近な地域で市民自ら介護予防や健康づくりに取り組むための拠点整備、社会参加の場としての定着及び活動を継続できる仕組みを構築する必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

介護予防は、日頃から心身の機能の維持・向上に努めることが重要であることから、町内会やボランティア団体等と連携し、市民が自主的に地域の身近な場所で健康づくりに取り組める環境づくりや普及啓発を行う。

令和6年度新規事業

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	